

# いくぞう 通信

議会レポート

No.23 号

2019 年 12 月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792  
Tel・fax 0282-55-8776  
携帯 090-9010-7042  
Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、  
気軽にお電話ください。  
栃木市議会議員 針谷育造

11月29日から12月18日までの20日間、12月議会が開かれ、2019年度一般、特別会計補正予算、条例制定、一部改正10件、工事請負契約5件、千塚産業団地内の土地売り払い2件、

指定管理者の指定2件を可決し閉会した。詳しくは議会広報等ご覧ください。



## 台風19号災害を、どう乗り越えるのか？

市長・「多くの計画された事業を見直しをしていく」

### 11月と12月補正で144億円

台風19号は栃木市財政にも甚大な被害をもたらした。あの台風さえなかったらと悔やんでも始まらない。現実には的確に対応しなければならない。

収入・支出は144億円

支出	144億
見舞金、被災家財等補助金	11億
災害廃棄物処理、消毒	28億
道路、橋、河川公園学校	
農業施設修理	58億
住宅復旧支援補助金	18億
住宅応急修理支援	20億
収入	144億
国、県支出金	47億
市債（国で支援する借金）	35億
市債（借金）	21億
市の貯金（基金）	41億

今やらなければならぬことはなにか？

今回の議決で悩んだことは

- ①災害復旧に予算を優先する。
- ②当面美術館の契約をする。議決しなければ国へ20億の返済問題有。
- ③大型事業は先送りする。
- ④今、美術館建設不用の意見もあるがとにかく何がベストなのか判断は難しいものでした。それでも議会は美術館を選択した。妥当な議決だと考える。

## 一般質問1・市総合計画・後期計画(防災)について

### 台風19号の甚大な被害の責任は誰にあるのか？

針谷「関東・東北豪雨から4年目の台風19号の大災害である。50年に一度の神話は完全に崩れた。しかし国も、県もその責任をいまだに認めない。「復旧工事は早急にやる」の言い訳だけに聞こえてしまう。マスコミもその責任を追及する姿勢はほとんどない。

「天災」ですべてを許すわけにはいかない。明らかに人災、行政の不作為の声も高まっている。災害に強い都市環境をどう作るのか。」

部長「計画にある災害に強いまちは、防災指針に基づき実施している」

「国県の責任」の答弁はなかった。

### 治水事業は、市で出来るのか？

部長「市ではできない。国、県に要望する」

針谷「お願い陳情では市民生活が守れないことが証明された。根本的に考え直さなければダメ。



### 陸の津波・川ツナミだ！

「国・県は責任を取って欲しい」・・・「私だけでなく、市民は怒っている・・・」

下皆川の知人は、「夜中に浸水が始まり2階へ避難、朝、外を見ると昨日の景色はなく濁流がすべてを飲み込み荒れ狂っていた。「川津波だ」。永野川の土手が切れたと分かった。近くにある新築間もない娘のカフェも破壊された。水が引くのを待って近所の片付

けに1週間。その後は自宅とカフェの片付けに一か月。夢中でした。今でも10月12日で時間は止まっている。この災害の原因と責任を誰も取らないことに腹が立っている。何でこんなことになったのかの検証が必要です」

政府は国民に「国を守れ」という前に、

### 災害から国民を守ることが先でないのか？

針谷「市長は市民の暮らしを災害から守るために何が出来るのか」

市長「ソフト、ハードの面で社会資本の整備に努めていく。国土強靱化栃木市版を12月議会でお願した。国の予算を確保すること強く要望していく」

針谷「お願いではだめです。市民のために国県の責任を追及し整備させて欲しい」

市長「国土の強靱化は、原状回復ではなく改良してほしいと要望する」

針谷「子育て世代部門田舎No.1などの実績が水害と一緒に流れていってしま

う。住みよい栃木市を取り戻さなければならぬ」

市長「安全なところはないと覚悟して生きなければならないが、栃木市を

選んで移住者した人や、今後、住みたいと考える人に栃木市はダメージになった。なお一層の努力をし、安全な栃木市を作りたい。」

## 一般質問 2・令和2年度の予算編成方針について

### 本当に・市財政は大丈夫なのか？

市長「大規模事業を圧縮し災害復旧にあてたい」

市長「市長マニフェスト事業や大規模事業も状況が変わり、台風災害、生活再建に全力を尽くしたい。補助事業の期限、延長も求めていく」

針谷「この災害で数年間は財政も楽観できない。この難局をどう乗り越える

かが試され、市の命運がかかっている。財政計画を示し、健全化を図るべきである」

市長「早急に検討する」

### 大型事業をどうするのか？ それが・・・問題・課題です

- ・嘉右衛門町拠点整備・・・整備中で・・・最終20億円（金額は予定）
- ・都賀・藤岡、大平、西方総合支所整備・・・4か所×19億円＝76億円
- ・斎場整備・・・PFI事業で18年間に66億6290万円 年間1億8千万円
- ・子どもの遊び場・・・13億1000万円・・・設計済み
- ・文化芸術館整備・・・22億5467万円・・・議決済みで実施する。
- ・文化会館再編・・・計画中
- ・消防庁舎・・・設計済み
- ・消防指令センター・・・設計済み

針谷「この難局を乗り越えるための『打ち出の小づち』はない。これらの大型事業を延期し、その後に取り組めばよい。19年度の防衛費は5兆2754億円にもなる。国民の生命、財産、暮らしこそが優先されなければならない。そのために1兆円使えば河川の決壊だって防げるはずである」国よりも市民を守れと言いたい。（ここで議場内がザワツキ『何言っているんだ、いつもの話か…』と、嘲笑が伝わってきた）

市議会は市民の生活を守ることが使命です。市民生活防衛のために、国県の責任を追及し、『河川改修に金をかけろ』と声を上げなければ、市民は守れない。その責任は市長、市議会にもある。市民に寄り添うなら国、県に要求すべきです。『一級河川の永野川を整備しなさい』

他人の発言を笑っている場合ではないのですよ。思考停止はダメ

「お判りかな、同僚議員さん！」

## 一般質問 3 栃木シティフットボールクラブについて

### 専用スタジアムの見通しはどうか？

(株) 日本理化 (親会社) が設計中、「敷地使用料は取らない」

**市民の財産を無料で使わせる…根拠と理由を示すべき！**

針谷 「岩舟総合運動公園内のスタジアム建設の見通しは？」

部長 「親会社の日本理化工業がスタジアムの設計している」

針谷 「敷地の取り扱いはどのように考えているのか」

部長 「使用料は取らずに免除したい」

針谷 「それは問題でないのか。無料ということで市民の了解が得られるのか？」

部長 「市民説明会を開き理解を得たい」



### 小野寺北小跡地のサッカー専門学校への売却と地域開放は？

**「部長」売却して・専門学校として地域貢献したい**

針谷 「地域としても期待の声は大きい。地元では共存共栄の気持ちは強いと思う。建物内に『円仁、小野寺氏の歴史』資料展示室を考えているが、どうなのか？」

部長 「業者は了解しているので資料室設置は可能だと思う」

### 地域と共存共栄の関係を望む…しかし問題も出てきている！

針谷 「三谷地区に整備されているサッカー練習場に台風 19 号で土砂が流れ込み、日本理化工業から 2580 万円の撤去費用等が請求された。4 人の山林地主は困惑して

いる。地元との友好関係が必要なのは明らかなので、栃木市としても今後のサッカー振興を図るなら解決のために汗をかくべきである」

### 台風等の自然災害では、妨害排除責任は免責されるのが慣例となっている

地主の皆さんから相談を受けたが、突然の金額提示や振り込み期限まで示されて呆然としている。「事実確認もなく、話し合いの前にこのようなことをされては良い気持

ちはしない。2580 万円を 4 人の地主でなんて考えたら、夜も眠れず払える金額でもない」業者は何を考えて進めようとしているのか疑問である。